

# 住居学専攻

## コア・カリキュラム構成の設定と学習内容・行動目標

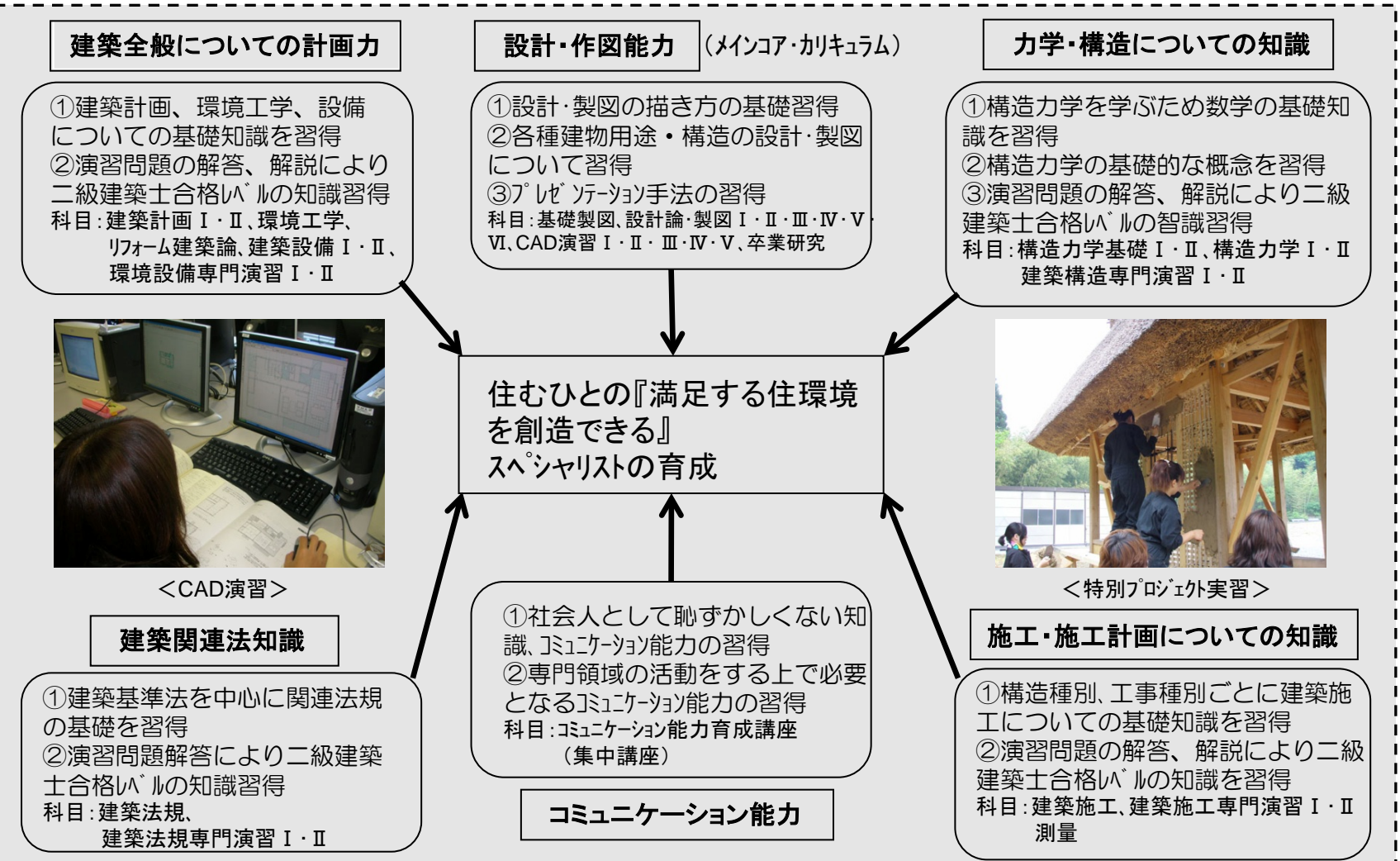
育成する人物像  
 住むひとの『満足する住環境を創造できる』スペシャリスト  
 (卒業時二級建築士合格レベルの知識を有する)

教育目標  
 住環境に関する専門知識と技術を習得し、住環境の安全・安心快適性の確保、健康・環境問題等を幅広く対応出来る実践力と感性を有した人材を育成し社会の発展に寄与することを目的とする。

入学前課題  
 コア・カリキュラムを構成するひとつの力学・構造についての知識を得るための準備として、入学前の補完学習課題『数学基礎』講座により1、2、3年次に学習する構造力学の基礎学力を身につける。

＜コア・カリキュラム＞  
 育成する人物像として住むひとの『満足する住環境を創造できる』スペシャリストを目指す。この習得知識レベルとして、卒業時に二級建築士合格レベルを目標とする。建築士試験科目である5科目、計画・設備・建築法規・構造・施工に設計製図実技の学びをコア・カリキュラムとして構成する。設計論・製図はコア・カリキュラムの学びを総合化したものであり、メイン・カリキュラムとして位置づける。

### ■コア・カリキュラムとそれを構成する科目



＜専門教育の学習と評価＞  
 授業科目: 設計論・製図Ⅳ  
 開講学年: 3年前期  
 学習項目:  
 ①集合住宅の機能を理解し、集合住宅設計の基礎を学ぶ  
 ②建築関連法規の知識を習得し、集合住宅の団地・配置計画を学ぶ  
 評価内容  
 I 自己評価  
 II 教員による評価 など

＜履修前後の学習内容評価の達成状況調査(学生による自己評価)＞  
 授業科目: 設計論・製図Ⅳ  
 開講学年: 3年前期  
 達成レベル: 自己評価  
 ①友達に聞いてできる  
 ②プリントを見ればできる  
 ③1人でできる自信がある  
 ④他の人に説明ができる  
 評価項目:  
 I 集合住宅の機能(住環境)  
 (a) 住棟を構成する共用・専用部が分かる  
 (b) 住棟の共用部分の機能が分かり、具体的な所要室が分かる  
 (c) 住棟の専用部分の機能が分かり、具体的な所要室が分かる など